

チャレクジ



NO.20 2011.7

発行者 特定非営利活動法人 チャレンジド ステーション クジラ
〒196-0003 東京都昭島市松原町3-6-7 アートヒルズ 105

事業所:TEL/FAX 042-569-6433

法人:TEL/FAX 042-542-7288

E-mail shrou-kujira@9jira.com

URL <http://www.9jira.com>

暑中お見舞い申し上げます

■ 東日本大震災の教訓とリスタートを

「あの日はどこにいらっしゃいましたか」「東北地方に知り合いは」「被害はありませんでしたか」3月11日以降のあいさつのようにになっていました。

東日本大震災は多くの被害と教訓を残しました。これ程までの規模と被害が想定されておらず、三か月が経過した今、当然今後の対策に教訓が活かされなければなりません。

災害時における障害者に対する支援策が議論され法律で制度化されるような情報もありますが、障害者と一口に言っても、視覚障害、聴覚障害のように、避難するのに一番大切な情報保障の体制が、身体障害者の移動手段など様々です。また、その時、どこにいるか(家庭、施設、企業)も大切な切り口となります。

今、企業の中でも、一般的な避難訓練だけでなく、「交通機関が止まる、通信手段が止まる、現場の責任者が不在で判断をどうするか」というような想定も行い検討がされています。一部の障害者団体でも災害対応マニュアルを作成しています。(くわしくは、チャレクジ事務所まで問い合わせください)

障害者の最高の就職数五万人超、障害者雇用未達成企業公表

ハローワークを通じて22年度就職した障害者が52,931人となり、統計を取り始めた1970年以降最高値となりました。一方障害者雇用促進法に基づく指導や勧告にも関わらず障害者の雇用率(1.8%)を大きく下回った企業名を公表しました。全国で6社、東京で3社です。

労働者派遣業「キャリアビジネス」卸・小売業「キャメル珈琲」などです。「キャメル珈琲」は朝日新聞に社長が取り上げられ、「イケイケどんどん」でしたが、社会的責任はカルディア(軽い)珈琲だったのですか。

■ 第46回 労働政策審議会障害者雇用分科会開催

3月31日に、上記会議が開催され、「障害者雇用率達成指導」にかかる期間や基準が変更になります。助成金制度でも「重度障害者多数雇用設置助成金」「障害者介助助成金」の支給見直しと財源が「納付金」から「雇用保険」へ変更となります。(くわしくは、チャレクジ事務所まで問い合わせください) 《文責 加納》

NPO法人 チャレンジドステーションクジラ賛助会について

NPO法人 チャレンジドステーションクジラ賛助会へ多数のご協力をいただきまして
ありがとうございます。今後も一層の努力をして参りますので宜しくお願ひいたします。

賛助会は随時受け付けております

年 会 費 1口 2,000円

連 絡 先 042(542)7288 お振込みの場合は下記までお願ひいたします。

振 込 先 青梅信用金庫昭島支店

普通口座 店番 015 口座番号 0711599

特定非営利活動法人 チャレンジド ステーション クジラ 理事 東條 芳男

加納正 障害者雇用の見聞録

A 男とB 子(ピキ男とピキ子)

働いていた職場(3月末に定年退職いたしましたので、現在は再任用で短時間勤務のおじさんです。)にA 男とB 子がいる。つい、「ピキ男とピキ子」と呼んでしまいそうな位ピキピキである。～18号、19号からのつづきで「ピキ男とピキ子」は今号で完結します。

東日本大震災…

昔から、「おてんとう様とおまんまは、ついてくるサ」「金は天下の回りもの」と、世の中は、その濃淡の差はあれど、なんとか生きていられるし、楽天的に(野球の話ではなく性格の話で、野球は西武ライオンズファンですから)生きてきた私。

しかし、災害も「金持ちや小生のような貧乏人そして、障害の有り無し」関係なく襲ってくるのですね。そして、その対処の困難さが、情報源や資源がある人たちと災害弱者(あまり使いたくないフレーズですが、誰が誰を、弱者にしているのって?)とスグ思っちゃうから)で違うことを経験させられました。

3月11日……

「全国特例子会社連絡会」が東京、大手町のサンケイプラザで開催されていました。現在、障害者雇用の特例子会社は全国300社 東京100社となっています。平成7年に、当時、日経連の西嶋さん、輪島さん、労働省障害対策課長の村木厚子さん電機神奈川の土師修二さんのご尽力で創設され、第20回の連絡会議でした。小生SACEC(一般社団法人 障害者雇用企業支援協会⇒都内の障害者雇用積極的に進めている組織で、昨年12月設立し活動しています)の事務局として、この会議の裏方で参加をしていました。

震災は突然、講師は平然…

地震発生の時は、厚生労働省の課長が来年度の事業や予算について説明中でした。一時会場は騒然となりましたが、「私は大丈夫ですから、ご心配の方は退席されても構いません」と平然と話を続けられましたが、全国から参加している特例子会社の社長さんたちですから、「東北の工場が」とか、いろいろの情報が入り、また、社員の安否確認がとれず、会場から会社に向かった都内の企業の社長さん。講義はバタバタしながら終了しましたが、予定していた懇親会を開催するかどうか判断を迷ったものの、交通機関が止まっているため、懇親会場で避難している状況でした。特例子会社の社長さんは、身動きがききせず、通信手段も不自由な、不安の中、会社の現場責任者への指示を飛ばし、社員の安否確認と安全確保が精一杯でした。小職も職場の危機管理は、管理部長を通じての指示で250名の安全と帰宅や避難体制の確保が第一義でした。とりわけチャレンジ雇用のA 男とB 子で交通機関が止まっている騒然としている都心での行動に不安がありました。

B 子は家庭で迎えに来ていただき、無事に帰宅したが、A 男の親御さんは高齢であったりすることから、課長が自宅まで歩いて帰宅し、課長のマイカーでA 男を自宅まで送り届けたのは翌日の朝方になっていたようです。普段何気なく通勤している彼らが当たり前と思い、電車が止まった時や通信手段が無い時のシミュレーションや、家庭や支援機関との連絡方法をあまり想定していない、「障害者の雇用」と言っていても普段からの職場の危機管理、雇用管理体制に反省するばかりです。

各企業さんでも3月11日を教訓として体制整備が図られています。

悲惨な被災地の報道が……

交通事情が不安なため、A 男と B 子はしばらく自宅待機としました。本当はその時のフォローが必要だったのかと思いますが、A 男は少し精神的に不安定になりました。人間誰もが起きている事態と将来予測できないギャップでパニックに陥ります。とりわけ、障害のある彼は、東北地方の起きている現実と東京での将来予測がオーバーラップしてしまいます。テレビでの悲惨な被災地の報道は、彼らを混乱させ、不安をかき立ててしまいます。もちろん報道は必要ですが…そばに説明してあげ、安心させることができるキーパーソンも必要ですね。

他社でも、地震以降、極端に不安感、恐怖感を訴える障害者の方がいます。

再就職へのチャレンジへ

A 男のチャレンジ雇用の残された期間が少なくなってきたおり、再就職に向け活動していますが、なかなか上手くいかないのです。理由は人前でのオナラでもなく、若い女性に積極的に挨拶することでもなく、年齢かな、コミュニケーションの下手さかなと……でもなかなか、今さら変えるとは、困難かな。A 男は事務補助等の仕事より単一作業系が良いのだが、とも思うが、変えるとすれば、探す仕事と職場環境かな。先日、ダステインホフマン主演の「レインマン」を何年振りかで、5 回目くらいにテレビで見た。施設に 1 年通い、自閉症者の動きを学んだと言うだけあり、訴えるものが、以前と違う面ありました。私は、A 男のチャップリンのような動きや話し方が大好きです。(おじさんがおじさんを大好きで、キモイで言われそうですが)彼が、ブツブツと言いながら、たまにオナラが「ブ」ですが、「ブツブツ」は自分がいろいろ言われ、注意されていることが、頭から離れず、たえずブツブツ自分を束縛している事が多く、彼の心の声が聞こえ、切ない時もあります。でも、ガンバ A 男。

チャレンジ雇用だから、悩んで、経験して

B 子も時々、乙女チックな(還暦過ぎた爺さんからすれば)悩みがあり、担当の N 係長が、「相田みつを」(無断引用して失礼)のようなクサイ教訓で(?)教育しています。

○月を振り返り、スタンプ押しが、前半うまく押せず悩んだ日々もありましたが、後半はうまく押せ、安定しました。(また、調子が悪くなる時が必ずくるので油断しないで)

スタンプ押しがうまくいかない時に、感情の浮き沈みが激しすぎます。気にせず、まず練習をしてコンディションを取り戻すことで平静さを保ちましょう。就職先では、平静さも大切です。

・今まで、悩んだり、悔しかったり、泣いた日々が沢山ありました。
・そんな苦悩を乗り越えて、今頑張っている事に意味があります。それが経験です。必ず B 子の糧になっていくはずです。

・悩まず、楽しく、頼もしく、仕事ができるよう頑張ってください。それまで沢山の経験を積んでください。それがチャレンジ雇用です。 **何か言い方がクサイね**

業務日報から、パクって紹介いたしました。(らせん状の成長で大丈夫なのと、突っ込みを入れそうな私がいますが……A 男と B 子が一日でも早くチャレンジが外れた雇用をと待ち望んでいます)

利用者の方から

チャレンジド ステーション クジラにお世話になってから今年で8年目になります。一緒にハローワークに行っていただいたり、手帳をとる前に相談をしたりして、手帳を取ることができました。また清掃の手順や人とのコミュニケーションをサポートしていただきました。

今まで3回の就職でお世話になりました。はじめは池袋の方での清掃の仕事でした。職員の人たちと一緒に池袋の方に行っていただき、通勤の方法を教わりました。チャレンジド ステーション クジラで清掃の手順や方法などを教えていただいたおかげで、リーダーにもなれました。ただ、通勤が遠くて困難だったため、自宅近くに職場がないかをチャレンジド ステーション クジラ に相談しました。すぐに対応していただき、カインズホームが募集している事を教えてもらいました。面接にも付き添っていただき、カインズホームに採用していただきました。入社したての頃は指導員の方が来てくれたので心強かったです。今勤務しているオリンパスへの就労の時にもお世話になりました。今年で4年目になります。3年半の間に、いろいろな場所の清掃を行い、今は会社の独身寮の清掃をしています。午前は1つの寮を4人で、午後は2つの寮を5人で協力して作業しています。広い寮を4、5人でやるのは大変ですが、指導員の方のサポートのおかげで作業がうまくこなせています。

今の仕事はとてもやりがいがあり、チャレンジド ステーション クジラにオリンパスを紹介していただき、感謝しています。これからもお世話になる事があるかもしれません、宜しくお願いします。

末永雅也

ナイト・ホリデーサポートのお知らせ

就労している利用者の皆様が会社の帰りや休日に事業所へ気軽に相談できるように「ナイトサポートとホリデーサポート」を行っております。どうぞ相談にお越しください。



ナイトサポート (17:30~21:00)	ホリデーサポート (10:00~16:00)
8月のナイト・ホリデーサポートはありません。 8月15日・16日はセンターの夏休みです。	
9月2日(金)	9月18日(日)
10月7日(金)	10月16日(日)
11月4日(金)	11月20日(日)
12月10日(土)クリスマス会 12月は通常のナイト・ホリデーサポートはありません。	